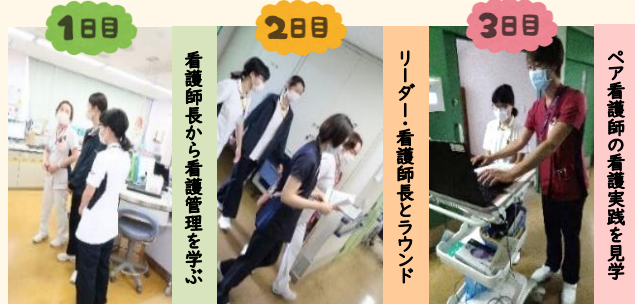




早いもので今年度もあとわずかとなりました。本年度、最後のセンター通信になります。  
12月・1月・2月の当センターは、様々なイベントが目白押しでした。それでは、その一部をご紹介します。

## 看護師のジョブシャドウイング

学生が働く看護師に密着同行し、仕事を間近で観察して学ぶという、ジョブシャドウイングを実施しました。今年度は、保健看護学部3年生12名の参加がありました。1日目は看護師長、2日目はリーダー看護師、3日目はPNSペア看護師についてシャドウイングすることで、看護師の仕事についてより具体的に考えるきっかけとなりました。5階西病棟、8階東病棟、7階西病棟、9階西病棟、11階東病棟の皆さま、お忙しい中、この企画にご協力いただき、本当にありがとうございました。



1日目

2日目

3日目

看護師長から看護管理を学ぶ

リーダー・看護師長とラウンド

ペア看護師の看護実践を見学

## 学生さんからの感想

“ロールモデルになる看護師が見つかった” “病棟内の雰囲気良く、就職後の不安が減った”  
“自分の看護師としてのイメージを抱くことができ、リーダーシップやメンバーシップの重要性についてもたくさん学ぶことができたため、今後の実習では、よりもっと「やりたい看護」を意識して行動できると思う”  
“人に感謝を伝えたり、コミュニケーションを多くとったりと、人間関係を円滑にすることが、チームワークの上で大切だと思った”



## 特定行為研修 地域医療コース8期生 共通科目研修 8名全員、来年度から区分別科目研修に進みます。



研修スタート

共通科目

今ここ!

共通科目 スクーリング

区分別科目 スクーリング

区分別科目 実習

終了

## おしらせ

急性期医療コース(院内向け)3期生4名、地域医療コース9期生10名 受講決定! 来年度から研修スタートです。

## 看護師受け入れ研修&出張看護相談

県内で働いている看護職を対象に、当院の認定看護師・専門看護師による看護師受け入れ研修を12月から2月の間で3コース開催しました。

【状態変化時の初期対応】では、2年目から20年目と幅広い経験年数の14名の参加があり、「何かおかしいを見逃さないことが大切だと改めて感じた」と研修での学びを実践に活かそうとする思いが感じられました。

【がん看護ベーシックコース】では、訪問看護ステーションや病院で働く3名の参加があり、がん性疼痛を有する患者の「観察の視点が広がった」「今後のアセスメントの方向性が理解できた」と個別的なケアを計画するためのヒントが得られたようでした。

【感染看護アドバンスコース】では、6名の参加があり、エビデンスに基づいた感染管理について学び、「現状から、一歩前進できる機会を得られたこと、そのきっかけとなる研修に参加できたことが自分自身と自施設の今後につながる経験であったと感じています」と課題解決の糸口をみつけることができたようでした。

また、今年度は手術室看護の出張看護相談に2施設の応募があり、「当院の実際を見てもらい、出来ているところ、改善点等をアドバイスいただき、私たちにとても有意義な機会を得られました」と他施設に出向いて実践を共有したことが、互いに良い刺激になったようでした。



状態変化時の初期対応

シミュレーショントレーニング

がん看護ベーシック

症例検討

感染管理アドバンス

ASTの見学

## 第3弾 キャリア支援座談会

今回は【～育児中のキャリアについて考える～】と題し、北田看護師(10階東病棟)、上中前看護師(7階東病棟)、小林副看護師長(8階東病棟)をゲストスピーカーに迎え、経験談を語っていただきました。

参加者からは、「みなさんが悩みながら工夫しながら両立されていると知り、勇気をもらいました」「復帰後のイメージが良かったです」と育児中のキャリアを前向きに考えるためのヒントを得るきっかけにできたことが伺えました。

